

凡例	解体後の敷地境界線	雨水管(VP管)
凡例	解体前の敷地境界線	雨水管(U型側溝)
□	現況地盤高(標高)	接続管vp400
○	計画地盤高	
◇	排水管(側溝)管底高	
	切土	
	盛土	

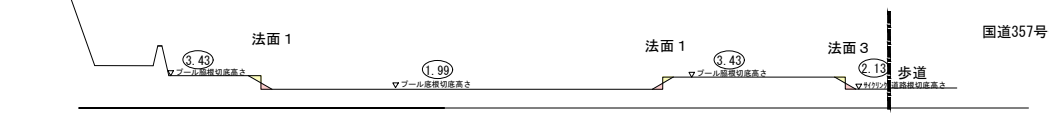
※法面1、2、3は搬出入土が0となる様、上部が切土 下部が盛土で形成し、勾配は30度以下とする。

造成計画平面図 S=1:800

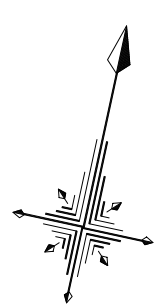
A-A' 造成計画断面図 S=1:800



B-B' 断面図 S=1:800

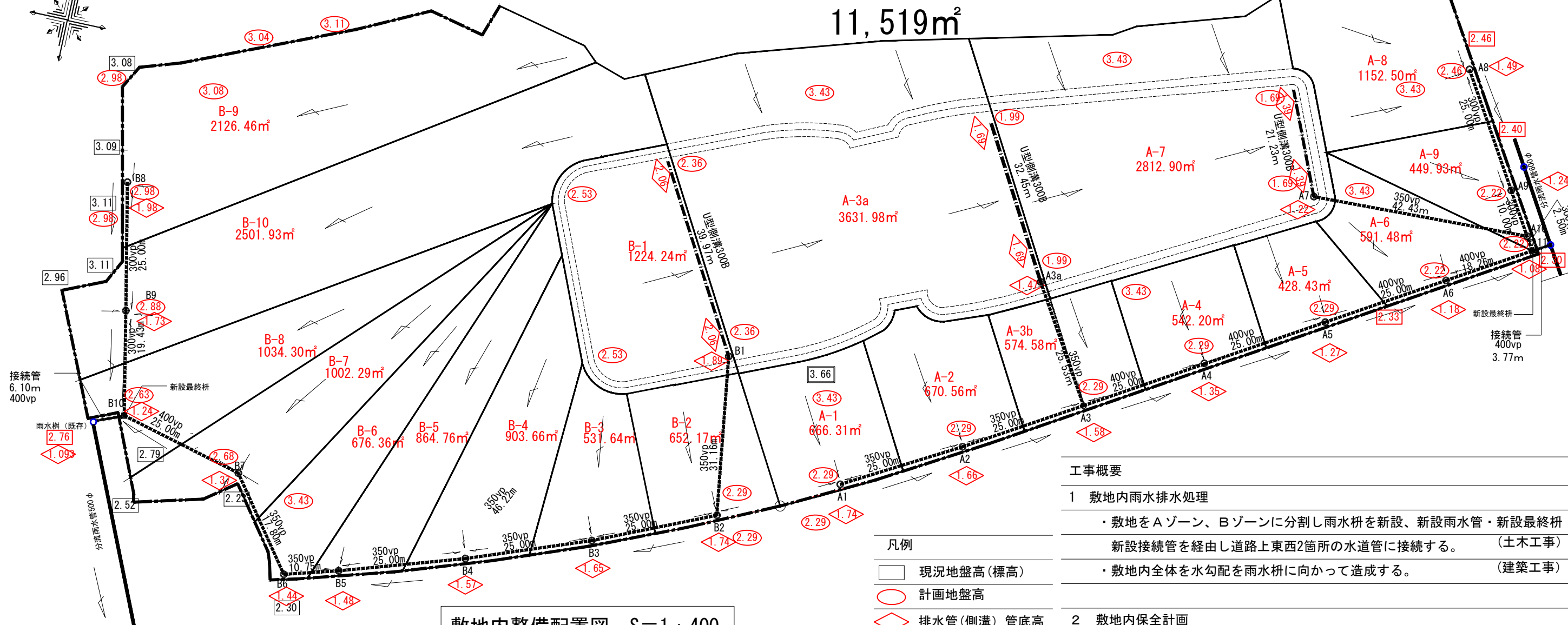


横浜市建築局		工事名	本牧市民プール解体工事		
年月日	R1.9	縮尺	1:800(A3)		
設計者		図面名称	造成計画平面図・断面図		
株式会社 鈴木設計事務所		施設番号	棟番号	変更履歴	図面枚数
					図面番号



B
11,519m²

A
11,519m²



敷地内整備配置図 S=1:400

雨水処理対象面積：23,038m²

- 凡例
- 現況地盤高(標高)
 - 計画地盤高
 - 排水管(側溝)管底高

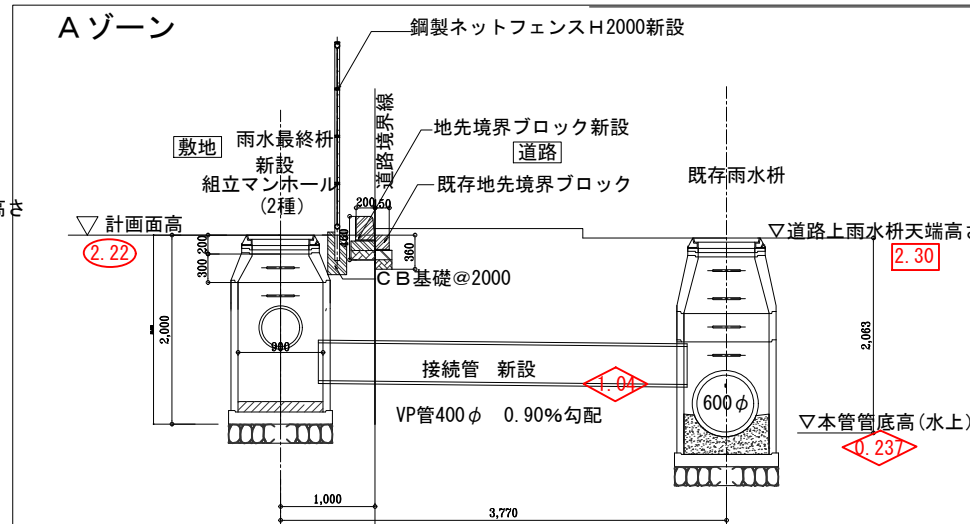
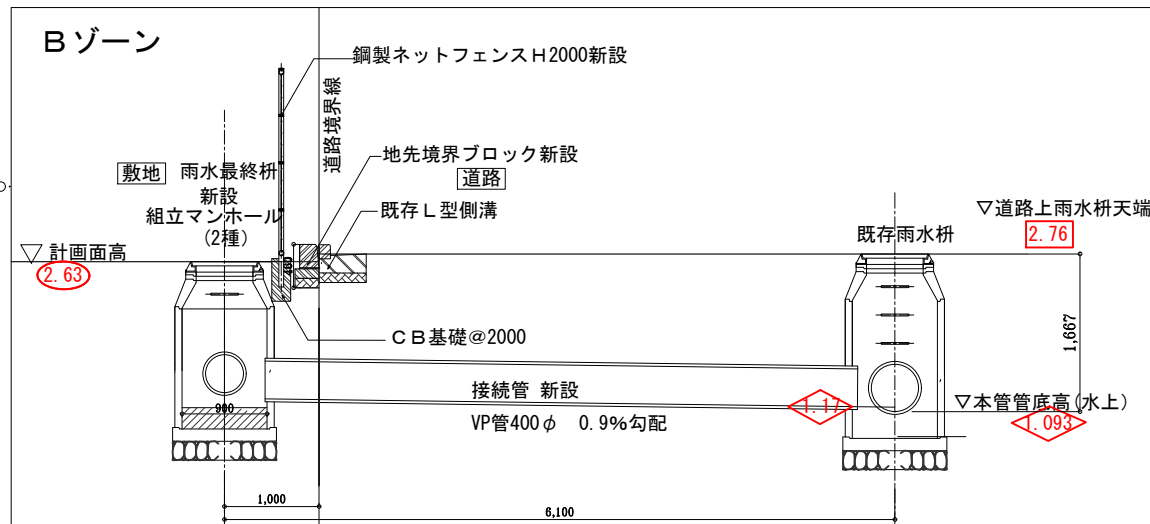
工事概要

1 敷地内雨水排水処理

- ・敷地をAゾーン、Bゾーンに分割し雨水枡を新設、新設雨水管・新設最終枡
- 新設接続管を経由し道路上東西2箇所の水道管に接続する。(土木工事)
- ・敷地内全体を水勾配を雨水枡に向かって造成する。(建築工事)

2 敷地内保全計画

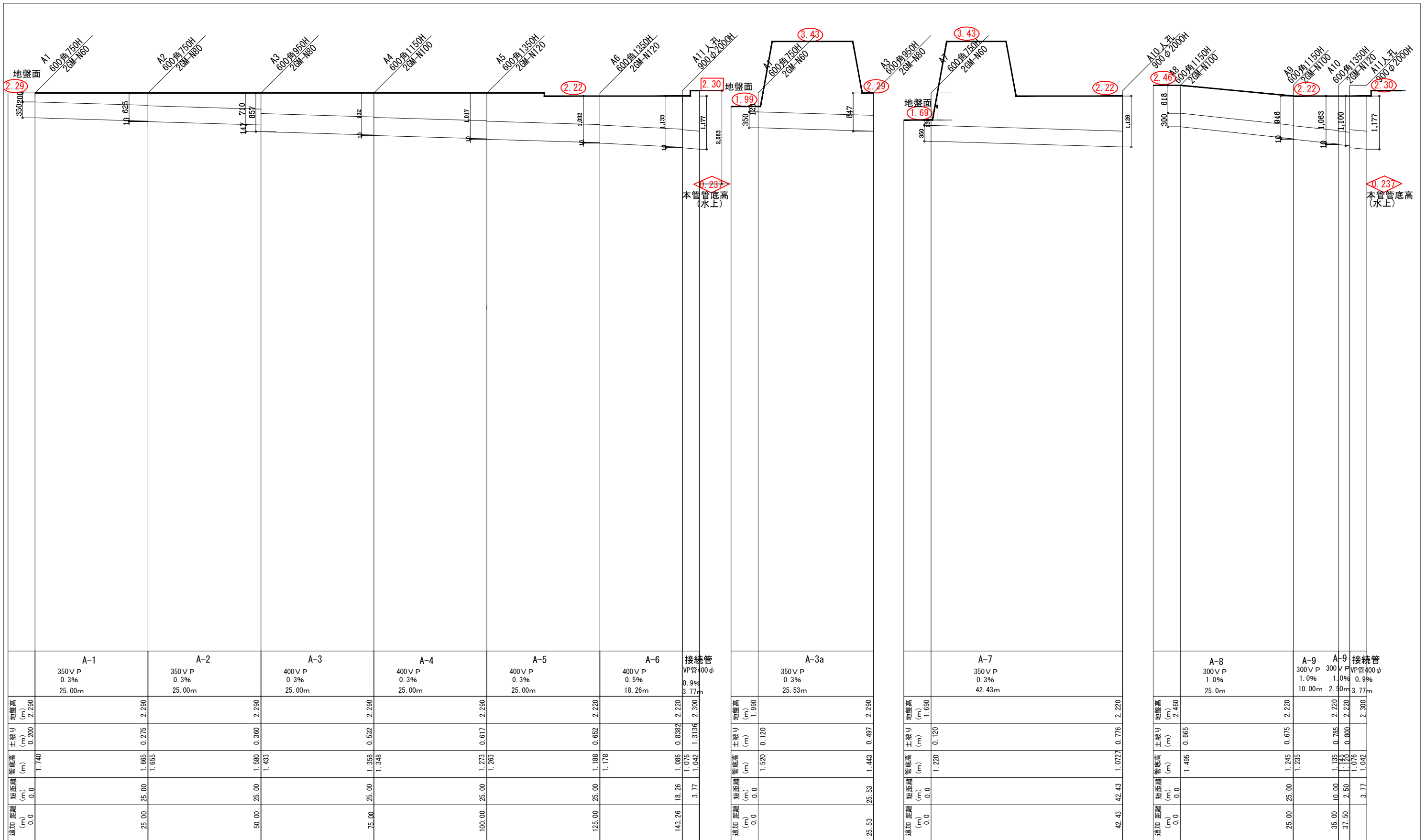
- ・敷地周囲に地先境界ブロック及びネットフェンスを新設(出入口2箇所)する。
- ・敷地全体に種子吹きをする。(建築工事)



- 地先境界ブロック + ネットフェンス
- 雨水管(VP管)
- 雨水管(U型側溝)
- 接続管vp400
- 接続枡
- 雨水最終枡

※面積算定はコンピュータ上の計測による
流出係数 0.7

横浜市建築局		工事名 本校市民プール解体工事	
年月日 R1.9	縮尺 1:50 T:400	図面名称	敷地内整備
設計者	1:100 1:800(A3)	断面名称	雨水排水配置図 断面図 工事概要
株式会社 鈴木設計事務所	施設番号	棟番号	図面枚数
		図面番号	

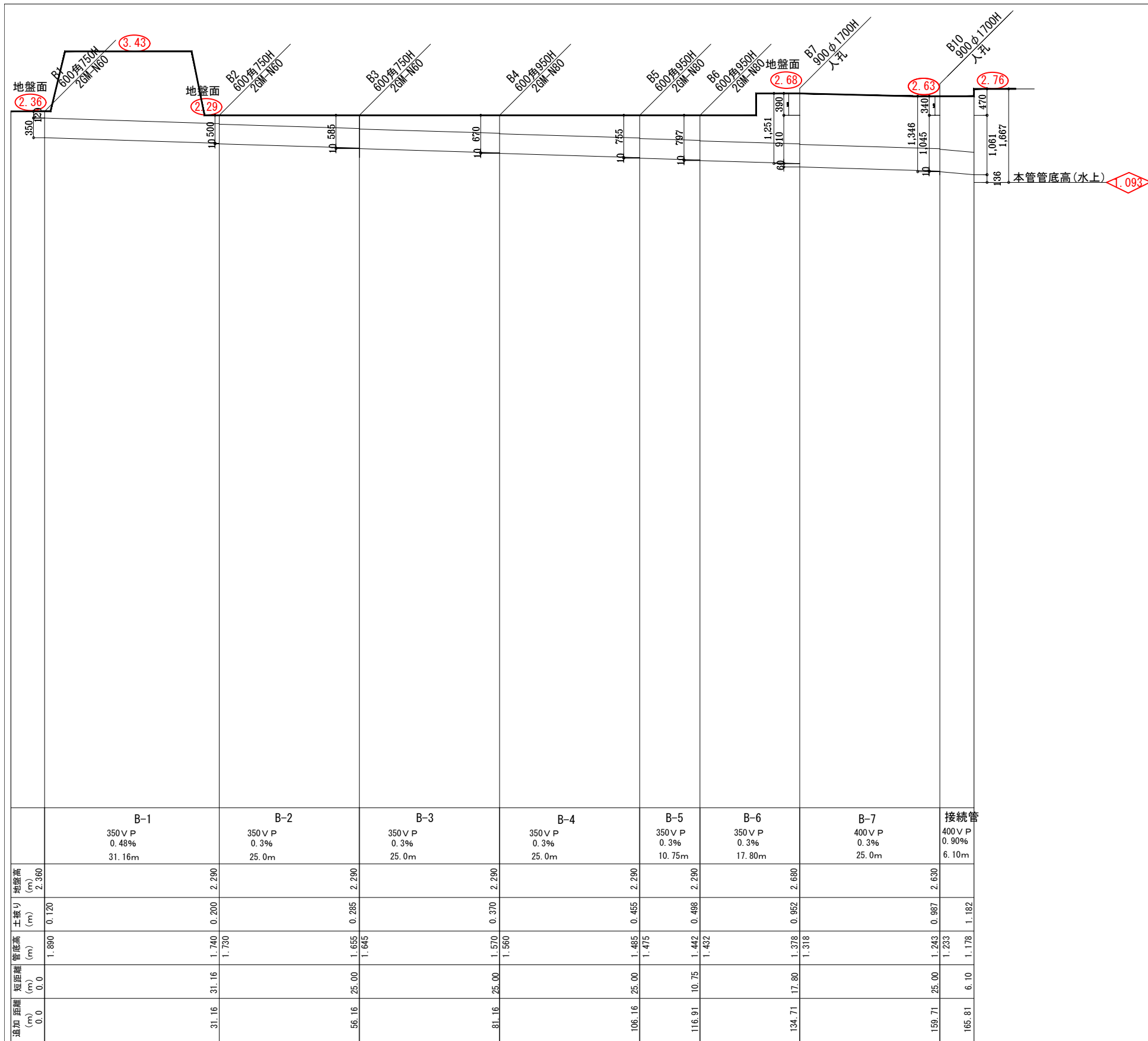


Aゾーン

排水施設縦断面図
流出係数 0.7

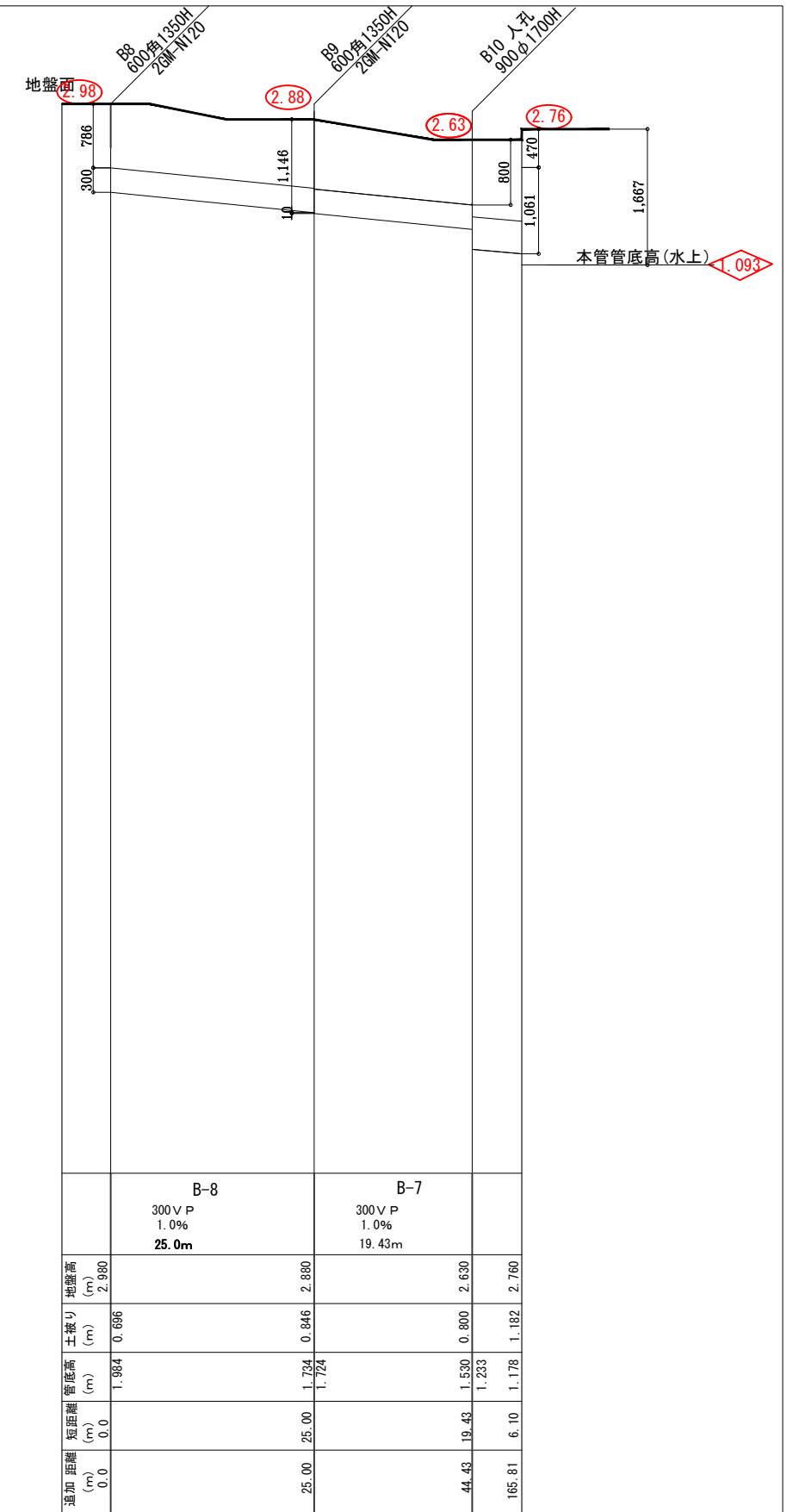
- 凡例
- 現況地盤高(標高)
 - 計画地盤高
 - 排水管(側溝)管底高

横浜市建築局		工事名	本校市民プール解体工事	
年月日	R1.9	縮尺	—	
図面名称		敷地内整備 排水施設縦断面図 Aゾーン		
設計者	株式会社 鈴木設計事務所	図面枚数	—	
図面番号	—	—	—	



Bゾーン

B-1



B-2

排水施設縦断図
流出係数 0.7

- 凡例
- 現況地盤高(標高)
 - 計画地盤高
 - ◇ 排水管(側溝)管底高

横浜市建築局				工事名 本校市民プール解体工事			
年月日	R1.9	縮尺	1/100	図面名称 排水施設縦断図 Bゾーン			
設計者 株式会社 鈴木設計工務所				施設番号	棟番号	区画番号	図面番号